



修道中学校

【所在地】 広島市中区南千田西町 8-1

【TEL】 (082) 241-8291

【校長名】 田原 俊典

【ホームページ】 <http://www.shudo-h.ed.jp/>

令和3年度 生徒募集要項

●募集人員 276名(男子)

●試験日

1月23日(土)

●試験科目・配点

国語	50分	125点
算数	50分	125点
理科	40分	100点
社会	40分	100点
C.T.	50分	100点
合計	230分	550点

●合否判定

学力検査 極めて重視

調査書 なし

C.T.は「Comprehension Test」(情報受容能力テスト)の略称で、放送を利用したテスト。

●二次募集、推薦制度、専願制度 なし

●合格発表

詳細については10月下旬本校webページでお知らせ

学校情報

①修道中学校は、1725年に創始された広島藩藩校に源を発している。個性と自主性を重んじる校風のもとで学んだ多くの卒業生が、全国・海外各方面で幅広く活躍している。社会で活躍する人材を多く輩出している。

②「道を修めた有為な人材の育成」を建学の精神としてかけ、また教学の目標を「知徳併進」として、グローバル・リーダー育成を目指している。

③中学卒業後はそのまま修道高等学校へ進学している。修道高等学校は東大や京大・阪

大をはじめ、難関国立大学へ多くの生徒が進学している。また伝統的に国立大学医学部への進学者が多い。

④6か年を2年ごとの3段階にわけ、初級(中1・2)に、社会の一員としての心構えと学びの基礎をじっくり育てる。中級(中3・高1)に、「今、何をすべきか」自分で考えた課題に立ち向かう。上級(高2・3)に、未来を見つめ、自らの目標に向かって前進する。のキャッチコピーをかかげて、発達段階に応じた様々な取り組みを行っている。

⑤学校生活の基本を授業に置き、平日60分6時間の授業を真剣に展開している。

⑥クラブ活動も盛んで、運動系18、文化系18に一つの同好会を加えた合計37のクラブが、限られた活動時間・設備の中で目的意識を持って励み、毎年のように多くのクラブが全国レベルの大会に進出している。

⑦2010年春に、充実した施設を備えた総合体育館が完成したほか、2013年夏には、グラウンドの人工芝改修工事が終了し、2017年春にはプールが可動床式に一新されるなど、スポーツ環境がさらに向上した。

⑧2017年度生から、FLP(フューチャーリーダーズプログラム)が実施され、3年次にオーストラリアの大学で行われるUNSWコース、国内で行われる「SHUDOコース」のどちらかに参加し、未来のリーダーとしての力量を高める。

⑨中1から高2では1人1台のタブレット端末を所有し、授業を始めとした校内でのさまざまな活動で活用する。整備された校内のネットワーク設備を用いて、インターネットに1人1接続が可能となった。(修ゼミ:大塚)

令和2年度 入試結果

入試結果

●受験者数	922名
●合格者数	534名
●補欠合格者数	55名
●入学者数	287名

系列高校

修道高校

希望者は全員進学できる。

テスト結果

●受験者平均点

国語	63.6点 (125点満点)
算数	82.1点 (125点満点)
理科	69点 (100点満点)
社会	60.6点 (100点満点)
C.T.	75.7点 (100点満点)
合計	350.9点 (550点満点)

●合格者最低点

346点 (550点満点)